

KICK BOXING DEAD HEAT

Professional

規約ルール

服装:

男子は上半身裸体、女子は上衣を着る。ムエタイランクスやキックパンツを使用するが、その他の物を着用する時は事前に大会実行委員の了承を得たものを使用する。着衣には、マジックベルト、マジックテープ、ボタン、ファスナー等の金属、プラスチック、その他の硬いもの等、相手が負傷する恐れのある装飾は禁止。マウスピース、ファールカップ、女子はアブスメントガードを必ず着用する。各クラス指定のグローブを付けて試合を行う。パーブラチアット、アングルサポーターの着用は可。

階級:

規定の時間内に計量を行い、リミットをクリアした者が試合出場できる。

試合形式:

ラウンド制(R)。1Rを3分間とし、ラウンド間に1分間のインターバルをおく。

試合は3R又は5Rで行う。また、負傷防止のためマウスピースとファールカップを着用する。

拳の保護:

バンテージとテーピングのみを使用し必ずバンテージチェックを受けて試合用グローブを着用する。

その他:

肘、膝、足首を固める為のテーピングは禁止。怪我の為に必要なテーピングは大会実行委員及びレフリー立会いのもと対戦相手の了承を得て使用可能とする。

有効技: グローブ着用による両手、両肘、両脚、両膝を用いた直接打撃制試合の形式。

反則技:

- バッティング: 頭で攻撃する。故意の頭突き。
- ローブロー: 相手のベルトラインより下を攻撃する。本項の狭義では、主に下腹部(金的)への攻撃のこと。
- ラビットパンチ: 相手の後頭部を攻撃する相手の背中側を攻撃する(キドニーブローとされる場合がある)。
- サミング: グローブの親指で相手の目を突く攻撃。
- オープンブロー: グローブの内側で打つ攻撃。クリンチ、又は首相撲からの首投げ。
- 柔道の足払い、背負い投げ、蹴たぐり。噛付き。
- レフェリーがブレイクを命じた後の攻撃。相手が倒れた後の攻撃。
- ラウンド終了のゴングが鳴った後の攻撃。
- 反則には注意を与え2度の注意で減点1、故意の反則には1度で減点1、悪質な反則は失格とする。

勝敗:

- KO(KnockOut): 相手がダウン後の10カウント以内に立ち上がれなかった場合。
- TKO(Technical KnockOut): どちらかの選手が明らかに不利な場合や試合続行不可能な状態になって試合を止めた場合。
- レフェリーストップ: どちらかの選手のダメージが深いなど、これ以上試合を続行させると危険であるとレフェリーが判断した場合。記録上はTKO。フリーノックダウン制。
- ギブアップ: 選手本人、もしくはセコンドがこれ以上試合を続けることができないと判断した場合。タオルを投げ込むのが通例。記録上はTKO。
- 失格: 相手が故意に重大な反則を犯した場合、もしくは反則を繰り返した場合。失格=反則負け。
- 判定: ラウンド毎に採点をし、ジャッジ3名の採点により勝敗を決する。
- 負傷判定: 試合の途中で偶然のバッティングにより負傷した場合、規定のラウンド、3Rは2R終了、5Rは3R終了に達していればそれまでの採点で勝敗を決する。達していない場合はノーコンテスト無効試合とし後日再戦をするものとする。

KICK BOXING DEAD HEAT

Professional

男子階級とリミット

フライ級	50.80kg 以下	バンタム級	53.52kg 以下	フェザー級	57.15 kg以下
ライト級	61.23kg 以下	ウェルター級	66.68kg 以下	ミドル級	72.57 kg以下
ライトヘビー級	79.38 kg以下	クルーザー級	90.71 kg以下		
ヘビー級	100kg 以下	スーパーヘビー級	100 kg以上		

女子階級とリミット

アトム級	46.26kg 以下	ライトフライ級	48.99kg 以下	フライ級	50.80 kg以下
スーパーフライ級	52.16 kg以下	バンタム級	53.52 kg以下	スーパーバンタム級	55.34kg 以下
フェザー級	57.56 kg以下	スパーフェザー級	58.96 kg以下	ライト級	61.23 kg以下
スーパーライト級	63.50 kg以下	ウェルター級	66.68 kg以下		

◎試合グローブ：

アトム級～フェザー級までは6オンス

フェザー級を超えてウェルター級までは8オンス

ウェルター級を超えた階級は10オンス

セコンドは3名迄とする。

DEAD HEAT

実行委員会代表 遠藤裕之